

公益財団法人うつのみや文化創造財団 中期経営計画評価表（平成27年度実績）

平成28年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市明保野町7番66号		設立年月	平成21年4月	
市所管課	教育委員会事務局 文化課		代表者	理事長 臼井 佳子	
ホームページアドレス	http://uacf.jp/				
基本財産（資本金）	110,000千円	主な出資者		出資額	出資割合
		—		—	—
	市出資額	110,000千円	—		—
市出資割合	100.0%	—		—	—
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を育成・支援することにより、魅力ある市民文化の創造を図り、地域文化の振興に寄与する。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の文化芸術振興事業 ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の管理運営事業 ・その目的を達成するために必要な事業（プレイガイド事業など） 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	84.4%				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員 （フルタイム）	0	理事との 兼務	嘱託職員	4	うち市OB
非常勤	理事	10	0	派遣等 職員	市	0	0	臨時職員等 （アルバイト等 含む）	1	0
	市以外	0	0							
	監事	2	0	市OB職員	2	1				
	計	13	1	計	37	1	計	5	0	
役員の平均年齢（歳）	64.0	役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無				0	
職員の平均年齢（歳）	48.3	職員の平均年収（千円）	6,093		個人情報保護体制の有無				0	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	備考
資産	921,699	
負債	340,786	
（うち損失補償等額）	0	
純資産	580,913	
（うち利益剰余金）	471,571	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	備考
総収入	907,040	
（うち市補助金等）	126,879	
（うち市委託料等）	634,593	
経常損益	10,024	
当期損益	11,030	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【うつのみや文化創造財団】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値		
			H26年度	H27年度		
1	公益目的事業比率の維持	31年度末 50%以上	82.0%	84.4%		
2	自主・受託事業の充実	31年度 93事業を実施	91事業	112事業		
3	効果的・効率的な施設の管理	31年度利用者数・観覧者数合計58万人	利用者・観覧者数57.5万人	利用者・観覧者数22.5万人		
4	文化芸術発信事業	31年度2事業を実施・継続	1事業	3事業		
5	周年・リニューアルオープン記念等の事業の実施	28年度実施 29年度実施調査・研究	開催準備	開催準備		
6	教育普及事業等の充実	31年度31事業を実施・継続	25事業	48事業		

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値		
			H26年度	H27年度		
7	地域連携事業の実施	31年度9事業を実施	8事業	12事業		
8	文化会館、美術館以外の館外での事業の実施	31年度8事業を実施	5事業	29事業		

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値		
			H26年度	H27年度		
9 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	75,111千円	126,879千円		
10 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	継続的な見直し	676,986千円	634,593千円		
11	財団保有財産の適正化	継続的な見直し	適正化	→		
12	特定外収入の増収（国庫補助の獲得）	継続的な実施	4,500千円	無		

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値		
			H26年度	H27年度		
13 (共)	常勤役職員数の適正化	継続的な見直し	31人体制	32人体制		
14	職員の資質の向上と育成	研修内容の充実 31年度取得資格18種	職員研修の実施・26年度取得18種	職員研修の実施・27年度取得20種		

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値		
			H26年度	H27年度		
15	施設の適切な維持管理	早期予算化による実施	小規模な故障・破損が発生	大規模改修工事の実施		

Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】</p> <p>各種の取組については、順調に進行しており、新たに地域と連携した文化発信事業の実施や大型の企画展など多様な文化芸術振興事業を実施し、地域文化の振興に寄与した。</p> <p>なお、平成27年11月から大規模改修工事中の宇都宮市文化会館においては、県内の代替施設や地区市民センター等の市民に身近な施設を活用して、積極的かつ効果的な事業展開を図った。</p> <p>また、美術館においては、館外事業「地域産業とデザイン～宮の注染を拓く」や、財団の特定費用準備資金を活用した大型の企画展「パウル・クレー展」を開催し、多くの市民に一流の芸術を提供した。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">• 職員の高齢化に伴い、適正かつ継続的に事業を実施できる体制の確立と人材の育成• 自主財源の確保• 市の資源（人・物）の存在に気づいてもらう・活用する事業の実施• 各文化団体との連携の強化
所管課による 評価	<p>【評価】</p> <p>基準値を上回る事業数を実施しており、財団の持つ専門性やノウハウを活かした事業展開が図られている。文化会館においては、大規模改修工事中の休館期間を「外部への発信機会」と捉え、館外事業を積極的に実施するなど、新たな手法で市民の文化振興に寄与した。また、美術館においては、本市ゆかりの作家を掘り起こした企画展開催や地域資源「宮染め」に注目した館外プロジェクトの実施など、美術を通じた市民の地域への愛着や誇りの醸成にも寄与している。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">• 大量退職に対応した財団の持つ専門性やノウハウを確実に継承できる持続可能な組織体制の確立• 積極的な自主財源の確保に向けた具体的な取組の実施• 市民の文化芸術活動を支える中核組織としての機能強化